

雫石町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

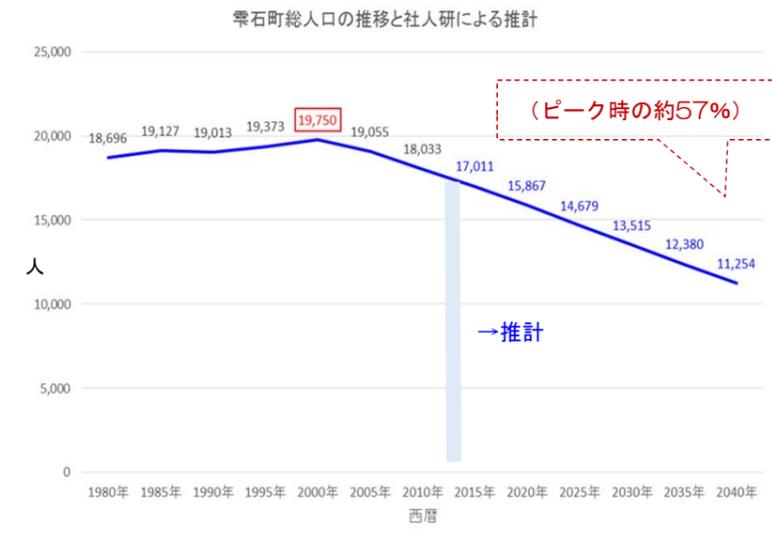
概要版

○雫石町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

本町における人口の現状を分析し、今後の人口の展望を示すもので、25年後の2040年及び2060年までの長期的な展望を示します。

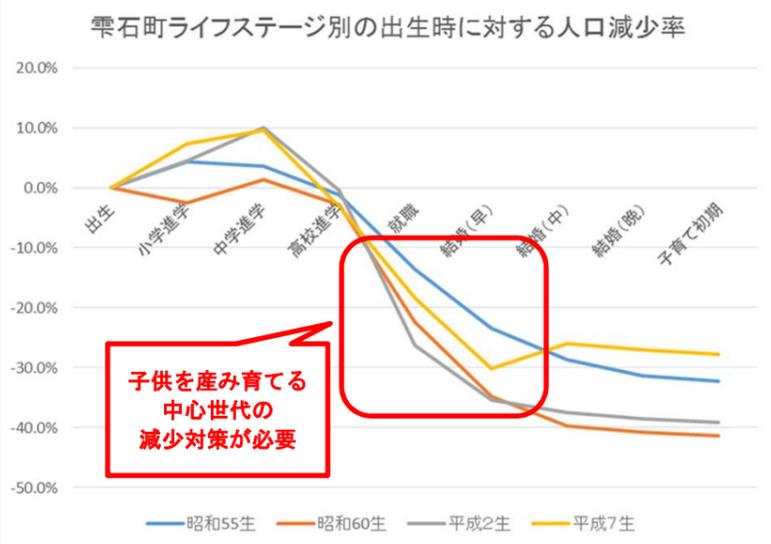
1、雫石町の総人口の推移と将来人口の推計

このまま対策を講じないと25年後の2040年に人口は11,300人を下回るという推計となりました。これは2000年のピーク時の約57%の人口にまで減少するという予測となります。



3、雫石町の年齢5歳階級別人口の移動状況

ライフステージ別でみると、高校進学時にほぼ出生数と同じ人口となっていますが、就職時に人口が2割前後流出しています。また、結婚時期、子育て期にわたり減少している状況にあります。



5、現状の課題と今後の方向性

- 本町における人口減少に関する課題と今後必要となる対策は次のとおりです。
- ・高校卒業時の進学・就職時だけでなく、結婚適齢期も人口が減り、子どもが減少する要因となっているため、就職場所の確保など子どもを産み育てる中心世代である20～39歳代の人を流出させない施策や、子育て世代の移住に関する施策に取り組むことが必要となります。
- ・婚姻率及び出生率が国・県平均より低いので、結婚対策や出生率向上対策の強化が必要となります。
- ・全国的な傾向ですが、高齢者が増え、また、男性就業者が減るため、高齢者や出産後の女性が無理なく働ける多様な雇用形態や就業環境の整備が必要となります。

6、目指すべき人口の将来展望

全国的な人口減少の中で、今後の人口増を展望することは困難としても、様々な対策により可能な限り人口減少の速度をゆるやかなものとしながら、将来目標を次のように設定します。

目標1 今後25年間で10%程度の人口減少に抑える

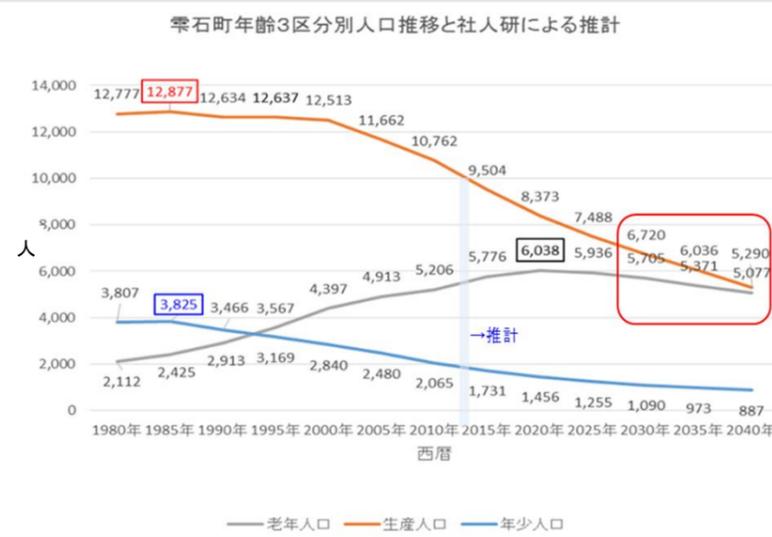
2040年に15,700人を目指す

目標2 2040年以降、人口減少をよりゆるやかな速度まで減速させる

2060年に15,000人を目指す

2、雫石町の年齢3区分別人口の推移と将来人口の推計

上記1の内訳をみると、高齢者と働く世代がほぼ同じ人口となり、高齢者1人を1人の働き手で支えることとなります。さらに、子供の人口は900人を下回る予測結果となりました。



4、人口減少の要因

本町における人口減少の要因は次のものが考えられます。

- ・本町で生まれた子どもは、高校進学時までは町内にとどまりますが、就職時に2割、結婚適齢期や転職時に2割、合わせて4割が町外に出ることが要因となっています。これは、県外への大学進学や希望する職種への就職、結婚時におけるパートナーとの就業場所の相違によるお互いが通勤しやすい場所への転出などに起因すると考えられます。
- ・子供を産み育てる中心世代である20～39歳代の人口が少なくなったことが要因となっています。その結果、出生数が減る結果となっています。
- ・合計特殊出生率が岩手県や全国平均を下回って低いことも要因となっています。これは、若年層における出生率の低下と未婚率の上昇が寄与しており、特に県平均値や盛岡圏域と比較し、本町においては20歳代の出生率が極端に低いこと、女性の20歳代の未婚率が県内ワーストであること、同じく男性の20歳代から30歳代までの未婚率も県平均以上であることなどに起因すると考えられます。また、若年層の離別が増加していることも要因の一つと推測されます。

7、目指すべき町の将来展望

本町が目指すべき将来の方向については『**みんながいいきと活躍し、雫石に暮らす幸せを実感できるまちづくり**』を目指します。また、その実現に向けて、以下の施策に対する取り組みを実施します。

- ①いいきと仕事のできるまちづくり**
子どもたちが町外に転出することなく地元で働くことのできる環境や、転入者が自立して生活できる雇用環境の整備、地域経済に好循環を与える観光客等の交流人口の増加を目指します。
- ②誰もが住みやすいまちづくり**
転出者の減少を目指しながら、町出身者がUターンしやすい生活環境を充実させるとともに、定住人口の増加へ向け、幅広い年齢層の移住希望者が安心して定住できる受け入れ態勢の整備を目指します。
- ③安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり**
結婚から出産・子育てまで切れ目のない支援と教育環境の充実により、子どもを安心して産み、育てることのできる環境の整備を目指します。
- ④特色ある地域づくりとみんなで支え合うまちづくり**
行政区や団体の枠を超えた「地域力」の向上と、地域住民が主体となり4地区ごとの特徴を活かしたまちづくりを推進するとともに、地域防災力を強化しながら「地域で支え合う力」を高め、誰もが安心して生活できる環境の整備を目指します。